

●生物学 Biology

1. 所属構成員等

教授 長田 敬五(併任)
准教授 岡 俊哉

2. 研究テーマ

1. 珪藻類の形態学的ならびに系統分類学的研究 Morphological and systematic studies of diatoms.
2. 有用生物材料の口腔領域への応用に関する研究 Probiotics for oral medicine
3. 初年次教育ならびに協同学習に関する実践的研究 Practical studies on first-year experience and cooperative learning.
4. 下等脊椎動物におけるエナメル質基質タンパク遺伝子の検索 Identification and characterization of enamel protein genes in lower vertebrates.

3. 今年度の研究上の特筆すべき事項 学会賞

1. 令和4年度日本歯科理工学会論文賞, 亀田 剛, 岡 俊哉, 井川淳一, 坂本 信, 寺田員人, 2024年4月15日, Can hypochlorous acid be a powerful sanitizer to replace alcohol for disinfection? – Its bactericidal, degradation of the solutions under various storage condition, and steel rust effects

特許

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部研究費

1. 第一産業株式会社, 奨学寄附金, (継続), 2019年度, オーラルヘルスケアへのフコイダンの応用, 岡 俊哉(代表), 130000円
2. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), (新規), 2022～2025年度, 納豆菌 *B.subtilis*の口腔医療(齲蝕制御)への新たな有用性の証明, 岡 俊哉(代表), 今井あかね(分担), 新井恭子(分担)(分担), 1300000円
3. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), (新規), 2022～2024年度, 河口・汽水域生態系における底生珪藻群集の構造解析, 鈴木秀和(代表), 長田敬五(分担), 神谷充伸(分担), 4030000円

8. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

1. Kazuki Sugawara, Hidekazu Suzuki, Mitsunobu Kamiya, Keigo Osada, Andrzej Witkowski. Morphology and molecular phylogeny of the marine diatom genus *Nagumoea* (Bacillariophyceae) from Japan. *○Phycological Research*. 2023; 71: 182-192. doi : 10.1111/pre.12521.

2. Kazuki Sugawara, Mitsunobu Kamiya, Risako Ota, Keigo Osada, David M. Williams, Hidekazu Suzuki. Morphology and molecular phylogeny of two marine diatom species, *Falcula* cf. *media* and *F. rectangularis* sp. nov. (Bacillariophyta) from Japan. ☆◇ *Phycologia*. 2024; <https://doi.org/10.1080/00318884.2024.2312574>: (15pages). doi : 10.1080/00318884.2024.2312574.

C. 解説・総説

記載事項なし

D. 報告・紀要

1. 岡 俊哉. ADP-ribose 受容体加水分解酵素 ARH3
— 活性の発見とその後 —. ◇日本歯科大学紀要 一般教育系 . 2024; 53: 10-19.doi : 10.14983/0002000004.

E. 翻訳

特記事項なし

F. 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研究会・研修会等での講演

1. 亀田 剛, 岡 俊哉, 坂本 信, 寺田員人, 小林さくら子. 錆や腐食を起こしにくい次世代次亜塩素酸の歯科臨床での有用性の検討. 第 81 回日本歯科理工学会学術講演会, 東京,
2. 菅原一輝, 鈴木秀和, 神谷充伸, 長田敬五. 紅藻ソゾ類とヤナギノリ類上に特異的に生育する *Falcula* 属未記載種の生態および遺伝的多様性. 日本珪藻学会第44回大会, 東京, 2023年5月13~14日
3. 吉永森羅, 鈴木秀和, 神谷充伸, 長田敬五. 海産付着珪藻 *Gomphonemopsis novozelandicum* の形態. 日本珪藻学会第44回大会, 東京, 2023年5月13~14日
4. 田谷雄二, 長田敬五, 田中とも子, 滑川初枝, 横澤茂, 田代有美子(全22名). 第1学年 LBP (LTD based PBL) 受講による対人スキルの向上. 第42回歯科医学教育学会, オンライン, 2023年7月15~31日
5. Kazuki Sugawara, Hidekazu Suzuki, Mitsunobu Kamiya, Keigo Osada. Taxonomy, ecology, and genetic divergence of the marine araphid diatom *Fa/cu/a rectangularis*, growing on some specific red algae . 26th International Diatom Symposium, 山形, 2023年8月28日~9月2日
6. Shinra Yoshinaga, Kazuki Sugawara, Hidekazu Suzuki, Mitsunobu Kamiya, Keigo Osada. Morphology and molecular phylogeny of the small diatom genus *Gomphonemopsis* from Japanese coasts . 26th International Diatom Symposium, 山形, 2023年8月28日~9月2日
7. 岡 俊哉. オーラルヘルスケアに有効なLMFの特性. 第16回 LMF臨床研究会, 大阪市, 2023年10月22日
8. 岡 俊哉, 螺良 修一, 今井 あかね. オーラルヘルスケアへの応用を目指す海藻由来薬効成分フコイダンの研究. 第96回日本生化学会大会, 福岡, 2023年10月31~11月2日
9. 田谷雄二, 長田敬五. LBP (LTD based PBL) と人間関係の構築 — 学生意識調査から —. 日本協同教育学会第19回大会, 広島, 2023年11月4~5日
10. 長濱文与, 石田正寿, 両角祐子, 長田敬五, 中西良文. 探究的な協同学習の実現に向けて — 高校、大学、大学院での実践から考える —. 日本協同教育学会第19回大会, 広島, 2023年11月4~5日
11. 両角祐子, 長田敬五. LBP (LTD based PBL) をオンラインで効果的に実施するために. 日本協同教育学会第19回大会, 広島, 2023年11月4~5日
12. 小松誠和, 安永悟, 草場万裕子, 長田敬五, 田谷雄二. “グループで考える”ことについて考える — Think about thinking with colleagues —. 日本協同教育学会第19回大会, 広島, 2023年11月4~5日
13. 岡 俊哉, 螺良修一, 亀田 剛, 今井あかね. オーラルヘルスケアへの応用を目指すフコイダンの研究. 第55回歯科衛生研究会, 新潟市, 2024年2月21日
14. 吉永森羅, 鈴木秀和, 神谷充伸, 長田敬五. 日本産ウミクサビケイソウ属 *Gomphonemopsis* の系統と形態. 日本藻類学会第48回大会, 神戸, 2024年3月22~24日

G 講演

1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし